



京都消費者問題セミナーを振り返って

2016 年 10 月 20 日、今回で 10 回目となる京都消費者問題セミナーが開催されました。

京都消費者問題セミナーは、適格消費者団体の認知をはかることを目的に、京都府、NPO 法人コンシューマーズ京都、適格消費者団体 NPO 法人京都消費者契約ネットワーク(KCCN)、適格消費者団体 NPO 法人消費者支援機構関西(KC's)、京都生協、京都府生協連が主催、京都市の後援で開催しています。

今回のテーマは「科学まがいにふりまわされないために」と題し、大阪大学サイバーメディアセンター菊池誠教授による講演があり、世の中にあふれている科学まがいな商品や事柄に対し、科学的な正しい判断力を身につけることの大切さについてお話いただきました。参加者からは、「広告に惑わされて間違った理解をしていた」などの感想が寄せられました。

今回のセミナーでは例年に比べて、幅広い年代の方々の参加も目立ちましたが、まだまだ、多くの方に参加をいただくという点では広がりがつくりきれいていません。消費者問題に関わる学習や啓発、消費者行政強化に向けた政策提言などは、当初より活動に参加している生協の大きな役割です。生協は学習や情報提供について、事業や組合員活動を通じて、多くの機会やツールを持っていますし、様々な年代の人材を持っています。消費者被害のない安全・安心な暮らしの実現に向けて、広く社会や地域に向けて、更なる役割発揮をし続けることがこれからも欠かせないと考えています。

(2016 年 12 月)